

旭丘授業デザイン

時間	学習活動・教師の手立て	めざす児童の姿
5分	課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・体験、興味・関心をもとにした課題設定 ・必要感、学びごたえのある課題設定 ・教科の見方・考え方を踏まえた共通の軸 ・教材の視覚化、既習、学習計画の見える化 ・課題解決の見通しを持たせるための工夫
5分	自分の考えを持つ	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の活用 ・教材文、資料、図等、根拠をもとに考えさせる ・不十分な考え方の見取り、肯定→活用 ・自己存在感の感受につながる働きかけ
25分	伝え合う・深める 実践	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いたいと思えるようなしきけ ・タイミング、グループ構成のコーディネート ・思考を可視化するためのツールの活用 ・目的や視点を明確にした話し合いの場の設定 ・ねらいに迫るための思考を深める発問、問い合わせ、問い合わせ、問い返し ・個に応じた支援 ・自己存在感の感受につながる働きかけ
10分	適用問題・まとめ・振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを使ってまとめさせる ・ねらいや子供の実態に合わせた適用問題 ・わかったことのアウトプット ・学びを自覚できるようなふり返りの観点

キーワードの位置付け（教科の見方・考え方、教科の用語等）

国語…教材文の叙述 算数…既習事項、図・表・式、規則性

社会…写真やグラフ等の資料 理科…既習事項、実験や観察の結果、生活経験



「今日のキーワードは□□」
「授業の大変なところは…のところだったね。」
「○○さんの説明を聞いたら自分でもできたよ。」
「次は…なことを調べてみたい。」

自己存在感の感受につながる働きかけ
めざす姿のための適時、適切な働きかけを継続的に行う

実践